



日本骨髄バンクの現状（平成 25 年 7 月末現在）

	6 月	7 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,442	2,727	434,071	586,147
患者登録者数	272	273	2,897	39,348
移植例数	117	121	—	15,836

■7月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10代	3,187人
20代	71,474人
30代	151,501人
40代	165,856人
50代	42,053人

■7月の20歳未満の登録者 216人

注)平成24年7月より集計方法が変わりました。

■7月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム/778人、献血併行型集団登録会/1,841人、集団登録会/8人、その他/100人

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 「骨髄バンク推進全国大会」について

日本骨髄バンクに名称変更後、最初となる「骨髄バンク推進全国大会」は、11月9日（土）、12時30分から16時まで（注：開始時間が変更になりました）、京葉銀行文化プラザ音楽ホール（千葉市中央区富士見1-3-2・千葉駅徒歩2分）において開催されます。

今回のテーマは、「あなたにしか救えない、命のために」。

第一部の式典後、第二部では「骨髄バンクのコーディネート」をテーマに、ドナーコーディネートの流れをわかりやすく解説し、確認検査面談と最終同意面談をロールプレイング形式で疑似体験していただく予定です。さらに、骨髄バンク普及大使である若狭みなとさん等によるミニコンサートも予定されています。

なお、今回はコーディネーターブラッシュアップ研修会と、地区普及広報委員研修会を兼ねることから、コーディネーター、地区普及広報委員、および説明員への研修に資する内容にしたいと考えています。

ひとりでも多くの方々に骨髄バンクの活動についてご理解いただけるよう、詳細が決まり次第、一般の方々にも広くアナウンスしていく予定です。

2 平成 25 年度コーディネーター養成研修会受講者募集について

北海道・函館地区でコーディネート活動ができる方を緊急に募集し、コーディネーター養成研修会を開催します。お知り合いや、周囲にご推薦いただける方がいらっしゃいましたら、是非とも応募のお声かけをお願いします。詳細は別紙「募集要項」、または財団ホームページをご参照ください（<http://www.jmdp.or.jp>）。

<募集概要>

◆募集地域（以下の地域で活動できる方）

北海道地区（函館）

◆募集人数

若干名

◆応募締切

平成 25 年 9 月 13 日（金） 必着



◆応募資格

原則 25 歳以上の健康な方で、骨髄バンク事業を理解しコーディネート業務を最優先できる方。ただし、骨髄移植適応患者やその家族、または特定の患者の支援活動をしている方は除きます。

*書類選考と電話での面接を経て受講者を決定します。

<参考>

今年度中に、下記の地区での募集も予定しています。実施要項等の詳細は 10 月 15 日発行のマンスリー JMDP でご案内の予定です。

詳細未確定のため、現時点での問い合わせには対応できかねますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

◇募集予定地域

関東地区：茨城、長野、群馬、東京、神奈川、埼玉、千葉

近畿地区：滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山

中四国地区：島根、広島、愛媛

3 舞台「友情～秋桜のバラード～」、チャリティランニングなど秋のイベントが開催

今年も秋恒例の舞台「友情～秋桜のバラード～」が、下記の日程で上演されます。

○9月20日（金）～22日（日） よみうりホール（東京・有楽町）

○9月24日（火） 入間市民会館（埼玉県入間市）

○9月26日（木） 四街道文化会館（千葉県四街道市）

また、骨髄バンクのチャリティランニングイベントを下記の日程で開催します。90 分のリレーマラソン形式で個人またはチームで参加できます。ふるってご参加ください。

【日時】10月25日（金）19:00 スタート（18:00 受付開始予定）

【場所】国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町）

【参加費】1名参加 5,000 円（税込）、チーム参加（2～6名）1名につき 4,500 円（税込）

※参加費の一部は骨髄バンクに寄付されます。

4 8月7日・8日「子ども霞が関見学デー」に子どもたちが大集合!

8月7日（水）、8日（木）の2日間、子どもたちに政府の仕事を紹介して広く社会を知るきっかけにするための夏休みイベント「子ども霞が関見学デー」が、今年も霞が関の 24 府庁で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

厚生労働省 2 階講堂には、骨髄バンクのほか、日本赤十字社、日本臓器移植ネットワーク等のブースが設置され、2 日間で延べ 994 人の子どもたちが参加し、骨髄バンクのブースには 2 日間で延べ 643 人の子どもたちが訪れました。来場した子どもたちは、骨髄バンクに関するクイズや塗り絵にチャレンジしたり、患者さんやドナーさんの体験談を聴いたりすることで、骨髄バンクへの理解を深めながら、楽しいひとときを過ごしました。



5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 58 施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

徳島大学病院

近畿大学医学部附属病院

獨協医科大学病院

・採取施設

旭川赤十字病院

※造血幹細胞測定体制が確認できましたので、採取施設認定の留保が解除となりました。

・移植診療科

同左 細胞治療センター

同左 血液・膠原病内科／小児科

同左 血液・腫瘍内科／小児科

新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当財団事務局総務部までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定
臨時理事会	公開・一部非公開	9月19日(木) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 各種データや試料を利用した研究について

当財団では、患者さんやドナーの方々からご提供いただいたデータや試料について、同意を確認したうえで、今後の研究に役立てていただくための基盤を整備しています。

移植成績向上を目的とした研究のためにこれらのデータや試料の利用を希望される場合は、該当する申請書をご提出ください。



1. TRUMPのデータ利用については、日本造血細胞移植学会の造血細胞移植登録一元管理委員会へお申込みください。

申請書類は、日本造血細胞移植学会ホームページ＞学会組織＞各種委員会＞造血細胞移植登録一元管理委員会にあります。

2. 試料の利用またはTRUMP以外のコーディネーターやドナー安全に関するデータについては、当財団へお申込みください。

申請書類は、当財団ホームページ＞医師の方へ＞患者主治医の方へ＞研究事業にあります。

8 「開始ドナー情報のお知らせ」等へのドナー血液型表記について

ドナー血液型が不明の場合の表記を以下のとおり変更します。8月29日（木）より運用を開始します。

現行) ①ドナー登録時に「不明」と申告された場合、②確認検査時に検査の結果判定ができなかった場合、いずれも「??」と表記しています。

変更後) ①ドナー登録時に「不明」と申告された場合は「??」、②確認検査時に検査の結果判定ができなかった場合は「**」と区別して表記します。

<表記のしかた>

例	現行	変更後
ABO型、Rh型いずれも不明の場合	??	①の場合：?? ②の場合：**
A型だがRh型不明の場合	A?	①の場合：A? ②の場合：A*

<該当する帳票>

「HLA適合検索結果報告書兼ドナー指定書」

「HLA適合検索結果報告書」

「開始ドナー情報のお知らせ」

「ドナー確認検査結果報告書」など

9 「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」の改訂について

平成22年の末梢血幹細胞採取・移植導入以降、ドナー用説明資料「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」の内容が増加し、複雑化してきました。

そこでこのたび、ドナーや家族にとって必要な情報がわかりやすく伝わる説明書にすることを目



的として大幅な改訂を行いました。また、説明書の名称を「ドナーのためのハンドブック」に変更しました。

「ドナーのためのハンドブック」は、「公益財団法人 日本骨髄バンク」への法人名称変更に合わせて、10月1日（火）の開始シート送付・確認検査面談・最終同意面談から使用を開始します。調整医師・採取責任医師の先生方には、9月13日発行のマンスリーJMDPに同封してお送りします。

10 最終同意書等の変更について

10月1日（火）の法人名称変更と「ドナーのためのハンドブック」の使用開始に伴い、「確認検査の同意書」、「最終同意書」（骨髄提供に関する同意書、末梢血幹細胞提供に関する同意書）、「最終同意立会い記録」の一部を変更します。

コーディネーターの方々には、詳細な運用方法についての連絡文書と変更後の同意書等（見本）を今号のマンスリーJMDPに同封しますので、ご確認ください。

<変更点>

- ・「骨髄移植推進財団」→「日本骨髄バンク」
- ・「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」→「ドナーのためのハンドブック」
- ・「ドナーのためのハンドブック」に当財団では負担できない費用について記載したため、骨髄提供に関する同意書の「2」、末梢血幹細胞提供に関する同意書の「4」に下線部を追加。
→「骨髄／末梢血幹細胞提供に要した交通費が後日、日本骨髄バンクより支給されること、しかし、休業補償、その他「ドナーのためのハンドブック」所定の費目は支給されないことを了解しました」

<運用>

- ・10/1から変更後のシステム帳票が出力されます。
- ・10/1の面談から変更後の「確認検査の同意書」、「最終同意書」、「最終同意立会い記録」を使用します。面談日が10/1以降で9月中に書類を送付する場合、地区事務局は変更後のものに差し替えてコーディネーターに送付します。

11 報告書等の変更について

最終同意書等の変更と同様の理由により、「確認検査面談報告書」、「最終同意面談報告書」、ドナー宛帳票「提供意思確認書、確認検査（面談）日のご案内、最終同意面談日のご案内」についても一部変更します。

コーディネーターの方々は、別紙連絡文書と変更後の報告書等（見本）も併せてご確認ください。

<変更点>

- ・「骨髄移植推進財団」→「日本骨髄バンク」
- ・「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」→「ドナーのためのハンドブック」
- ・「確認検査面談報告書」、「最終同意面談報告書」を「ドナーのためのハンドブック」の章立て・内容に合わせて変更。

<運用>

- ・10/1 から変更後のシステム帳票が出力されます。
- ・10/1 以降に変更前の「確認検査面談報告書」、「最終同意面談報告書」を使用しても問題ないため、面談日が10/1 以降で9月中に書類を送付する場合、地区事務局はシステムから出力したものを差し替えないでコーディネーターに送付します。
- ・10/1 以降に出力した「確認検査（面談）日のご案内」、「最終同意面談日のご案内」をドナーに送付する際、必要に応じて地区事務局で短冊を添付します。

12 帳票変更のお知らせ

以下の帳票を8月16日(金)のシステム出力分から変更します。

【ドナー確認検査結果報告書(問診・診察所見)】

○変更点

<調整医師記入欄：問診・視診・診察所見>

変更前) 貧血

↓

変更後) 血液疾患

<麻酔歴に関する事項>

変更前)

家族(血縁者)： 不明・ない・ある<全麻・腰麻・硬膜外・局所・不明>

家族(血縁者)で、悪性高熱症の既往：

不明 ・ ない ・ある ()

↓

変更後)

家族(血縁者)で麻酔歴があり、悪性高熱症・アナフィラキシーショックの副作用があった方：

不明 ・ ない ・ある ()

○変更の理由

調整医師から記載内容について指摘があり、ドナー安全委員会において検討した結果、変更が妥当との結論に至りました。